

## 4 環境トピックス

日本郵政公社では、「環境基本宣言」に基づき「できることから始める」を合言葉に、環境に関する様々な問題に取り組んでいます。主な取組をご紹介します。

### 郵便はがきへの再生紙使用

平成15年度から通常及び往復はがき等すべてのはがきについて再生紙化を使用しています（詳細は27ページをご覧ください）。



### ISO14001 認証取得

環境負荷の削減に継続的に取り組んでいく等の環境施策の一環として、モデル局である野田郵便局（千葉県）及び枚方東郵便局（大阪府）の両局において、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を平成16年8月に郵便局として初めて取得しました（詳細は17ページをご覧ください）。



### 家庭系パソコンの回収



平成15年10月1日から、各メーカーによる資源有効利用促進法に基づく家庭系パソコンの自主回収について、「ゆうパック」としての取扱いを開始しました（詳細は27ページをご覧ください）。



## 廃棄物の不法投棄に関する情報提供



郵便外務職員が地方公共団体から指定された監視場所を定期的に点検（バイクから降車する）し、不法投棄を発見した場合には、地方公共団体に報告するサービスを行っています。

## 環境大賞

郵便局等の各職場における環境施策の取組を奨励し、環境施策を円滑に推進するため、事業活動に伴う環境負荷の削減に向けた顕著な取組、環境分野における社会貢献の顕著な取組について、社内推奨制度として、平成15年度から「環境大賞」を創設・実施しています（詳細は20ページをご覧ください）。



写真提供：通信新聞社

## エコポストオフィス (環境に配慮した郵便局舎)



郵便局舎の新增築、大規模改修工事の際に、環境に配慮した技術・手法を導入したエコポストオフィスを推進しており、これまでのところ205局の郵便局において実施しています。

エコポストオフィス試行局として平成13年3月に完成した小田原東郵便局（神奈川県小田原市）では、高気密・高断熱化、換気用高窓・夜間外気利用（ナイトパージ）システム、氷蓄熱システム・高効率照明・照明制御、太陽光発電システム、屋上緑化・壁面緑化などの環境に配慮した技術・手法を採用し、完成後2年間の運用状況では、同規模の郵便局舎と比較して床面積当たりのCO<sub>2</sub>排出量を年間、約45%削減しています（詳細は25ページをご覧ください）。